

## 展示コーナー別運營業務

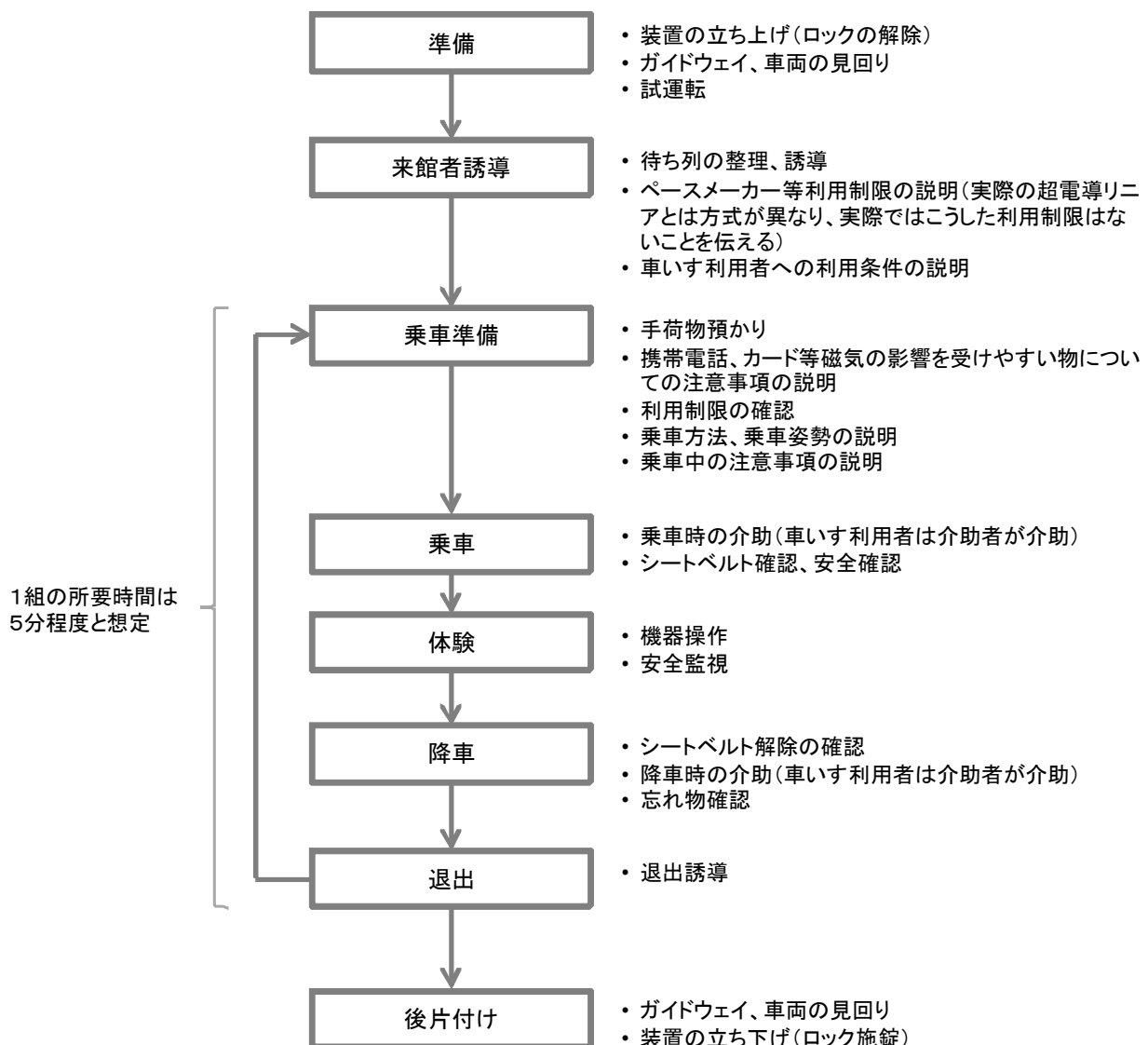
## 1 各コーナーにおける運營業務

フロア	コーナー	運營業務
1階	受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付・総合案内</li> <li>・来客受付、取り次ぎ</li> <li>・館内案内、周辺地域観光案内、交通案内</li> <li>・問い合わせ対応</li> <li>・パンフレット配布</li>   <li>●チケット販売</li> <li>・チケット販売、現金收受</li> <li>・領収書発行</li> <li>・減免内容等の案内</li> <li>・チケットベンダーの管理、用紙補充等</li>   <li>●来館者属性調査</li> <li>・アンケート配布、記入依頼</li>   <li>●入館制限等</li> <li>・入館制限(泥酔者等)</li> <li>・持ち込み禁止(ペット、傘等)</li>   <li>●再入場者管理</li> <li>・チケット日付確認</li>   <li>●その他</li> <li>・車いす、ベビーカー貸し出し</li> <li>・手荷物(ロッカーに入らないもの)の一時預かり</li> </ul>
	実験車両・大型映像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験車両の内部巡回</li> <li>・待ち列の整理、車両の出入りの誘導</li> <li>・展示案内、質問対応</li> <li>・車イス誘導(車両内に入れる幅の車イスを準備しておく。来館者は乗り換えて車両内を見学し終了後返却する)</li> </ul>
	リニア開発の歴史	・展示案内、質問対応
	キッズコーナー	・巡回、遊具等の整頓、応急清掃
	授乳室・こどもトイレ	・巡回、応急清掃
	走行試験情報モニター	・質問対応
	ミニリニア乗車体験	(後述)
2階	超電導リニアの仕組み	・展示案内、操作案内、質問対応
	超電導サーキット	(後述)
	体験ラボ	(後述)
	ワークショップ	(後述)
	走行試験情報モニター	・質問対応
	屋外見学テラス	(後述)
	3階	リニアジオラマ
シアター		<ul style="list-style-type: none"> <li>【プログラムはタイマースタート】</li> <li>・待ち列の整理、誘導</li> <li>・注意事項のアナウンス(写真撮影、携帯電話等)</li> <li>・展示案内、質問対応</li> </ul>
山梨断面リニア模型		・展示案内、操作案内、質問対応
見学ラウンジ		・巡回、応急清掃
走行試験情報モニター		・質問対応

## 2 ミニリニア乗車体験の運用

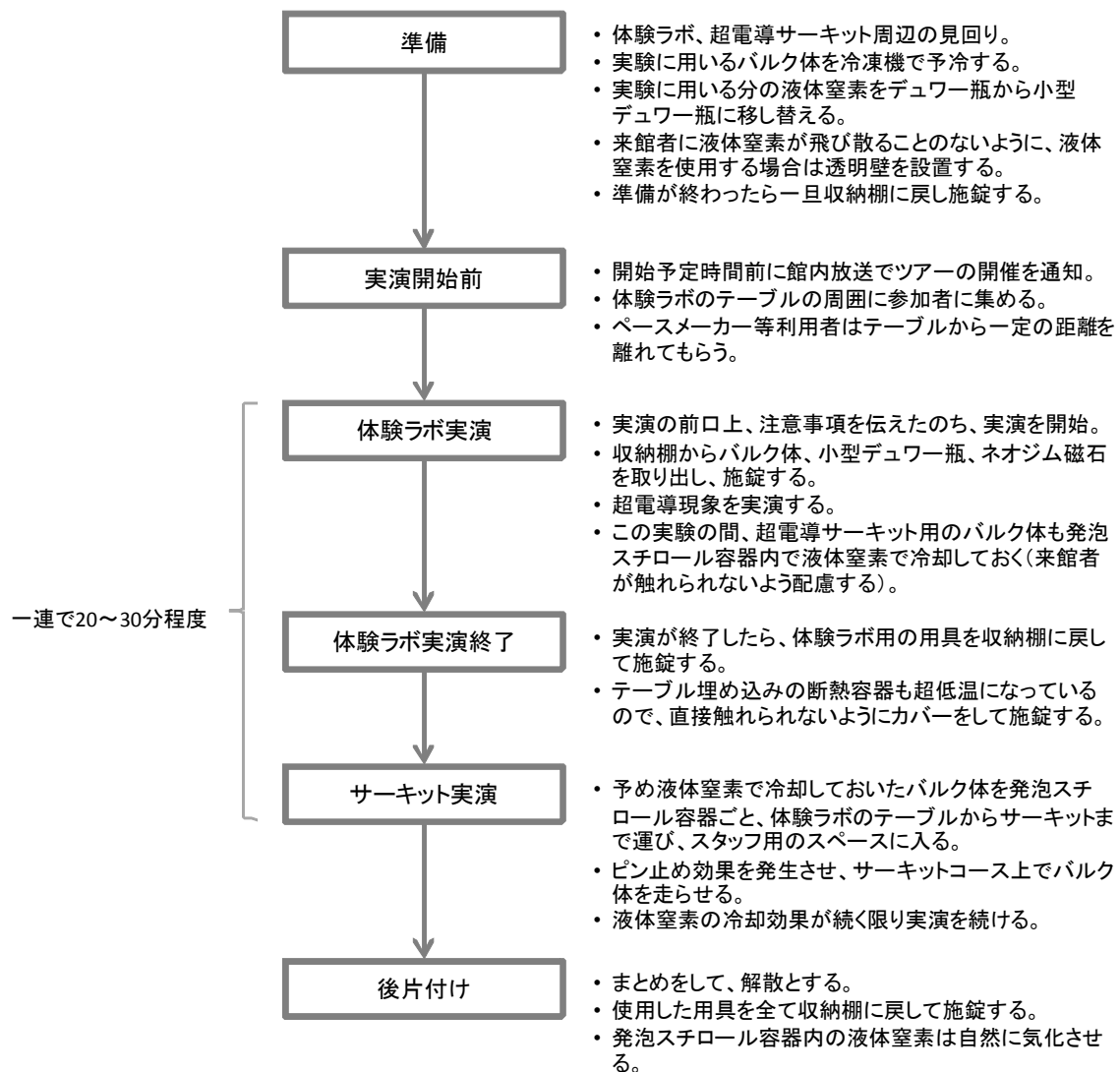
- 必ず、スタッフの管理の下で運用する。
- 車いす利用者については、本人と介助者で安全に乗り降りが可能な場合のみ体験可とする。
- ペースメーカー等を利用している方の体験は不可とする。
- 1回の乗車は1.5人（大人1名、こども1名）を上限とする。（仮設定）
- 合計体重の制限は100kg（仮設定）とする。
- 乗車中はシートベルトを義務付ける（締めないと動作しない安全装置付き）。
- 携帯電話、カード等磁気の影響を受けやすい物については、手荷物に入れて預けることを推奨するが、持って乗る場合は車体の床・壁からできるだけ離すようにアドバイスする。
- スタッフは適宜、展示物の解説を行い、来館者からの質問に答える。
- 立ち入り禁止エリア内に来館者が入ろうとした場合は注意する。

※乗車人数、体重制限については、展示制作段階において検証する。



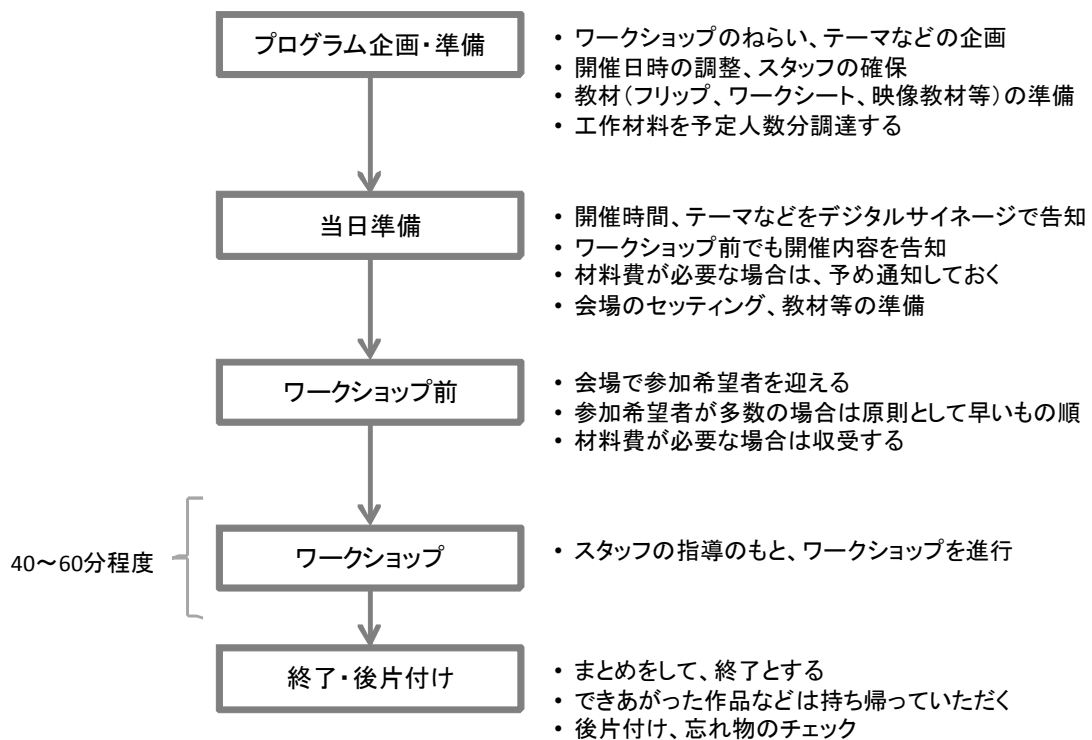
### 3 体験ラボ、超電導サーキットの運用

- 必ず、スタッフの管理の下で運用する。
- スタッフの実演によるレクチャー形式とする。
- 体験ラボ・超電導サーキットの2つのコーナーで一連のプログラムとする。
- プログラムは開催時間を決めて実施するものとし、その時間は事前にアナウンスしておく。
- 上記とは別に予約団体を対象としたプログラムも実施する。
- 液体窒素、ネオジム磁石を利用するプログラムであるため、実演に習熟し、適正な管理と利用を行う。
- 実演に用いる器具類は、使用時以外は施錠できる棚に収納しておき、使用時も来館者が勝手に触れることのないよう十分に配慮する。



#### 4 ワークショップの運用

- 電気磁気工作などのワークショップ、各種イベント、学校利用の際の昼食場所など多目的に活用する。
- 原則として、スタッフの管理の下で運用する。
- 電気磁気工作などのワークショップでの活用を例に運営フローを整理する。
- ワークショップは開催時間を決めて実施するものとし、その時間は事前にアナウンスしておく。
- 上記とは別に予約団体を対象としたプログラムも実施する。



## 5 屋外見学テラスの運用

- 必ず、スタッフの管理の下で運用する。
- スタッフの誘導によるツアー形式とする。
- ツアーは開催時間を決めて実施するものとし、その時間は事前にアナウンスしておく。
- 上記のツアーとは別に予約団体を対象にツアーも実施する。
- ツアーの定員は40名程度を目安とする。
- 見学希望者が定員を大幅に超える場合は、複数回に分けて入れ替え制とする。

※整理券制とするか等は今後検討する。

